

第42回九電旗少年軟式野球熊本県大会
クレイライフプラストーナメント要項

1. 目的 少年達の育成と成長を支援し、技術の錬磨並びに親睦を図ることを目的とする。
2. 主催 九州電力株式会社熊本支店
3. 共催 熊本県中学校体育連盟
4. 主管 熊本県軟式野球連盟、熊本市軟式野球連盟
5. 後援 熊本日日新聞社
6. 会期 令和6年5月6(月)・11(土)・18(土)
予備日 5月12(日)・19(日)・25(土)・26日(日)
7. 会場 県運動公園野球場他
8. 参加資格 (1)熊本県軟式野球連盟に登録しているチームであること
(2)支部予選代表又は支部推薦チームで、令和5年度熊本県軟式野球連盟で決定しているチーム数とする。(全32チーム)
(3)スポーツ保険に加入済みのチームであること
9. チーム編成 監督1名、コーチ2名以内、選手10名以上25名以内とする。
10. 競技規則 2024年公認野球規則、2024年競技者必携並びに別に定める特別規則を適用する。
11. 試合方法 (1)トーナメント方式とし各試合7イニングとする。
ただし、試合時間が1時間30分、決勝戦においては2時間30分を経過した場合には新しいイニングには入らない。
(2)5回以降7点差の場合は得点差によるコールドゲームとする。
ただし優勝戦は5回以降10点差とする。
(3)7回又は制限時間が来ても同点の場合は、タイブレーク方式を最大2回まで行う。
それでも決着がつかないときは、出場選手9名の抽選で勝敗を決定する。
ただし、優勝戦は投手の投球制限を遵守のうえ、勝敗が決するまで行う。
(4)タイブレーク方式は継続打順で、前回の最終打者を一塁走者、その前の打者を二塁走者とする。すなわち、無死一・二塁の状態にして行う。
(5)全試合特別継続試合を適用することがある。
(6)降雨、暗黒などで7回までイニングが進まなくても5回を完了すれば試合は成立する。
(7)守備側及び攻撃側のタイムは、1試合に3回以内とする。タイブレーク戦は1イニングに1回とする。
守備側のタイム中に攻撃側は指示を与えることができるが、守備側のタイムより長引けば攻撃側も1回カウントされる
攻撃側のタイム中に守備側は指示を与えることができるが、攻撃側のタイムより長引けば守備側も1回カウントされる
(8)投手の投球制限については、2024年全日本軟式野球連盟の規定通りとする
1日100球で到達打者完了までとする。(ダブルヘッダー持ち越し可)
なお、特別継続試合で投球できる球数は、元の試合で投じた球数を引き継ぎ、残りの球数だけとする。

また、特別継続試合に勝利したチームの投手は、同日に行われる試合において1日の投球制限を超えない範囲で登板できる。

(9)守備の時間が長い場合(概ね20分)には健康維持を考慮し、審判員の判断で給水タイムを設けることとする。(試合時間には入れない)

12. 学校行事との調整

学校行事については配慮するが、行事参加者を除いて10名以上の選手が試合に出場できる場合は日程調整を行わない。

13. 使用球 (公財)全日本軟式野球連盟公認球 ケンコーM号ボール

14. 審判 熊本県軟式野球連盟公認審判員、中体連審判員

15. 参加申込 出場資格を得たチームは、参加申込書に所定事項を記入し、各支部を経由して4月22日(月)までに熊本県軟式野球連盟少年部にメールにて送付する。

※少年部メールアドレス **kumamoto-shounen@bun.bbiq.jp**

参加申し込み後の変更追加は監督会議前日まで認める。

16. 参加料 15,000円 監督会議時に納入

17. 監督会議 下記のとおり行う。監督1名のみの参加とする。

(1)日時 令和6年4月29日(月・祝) 15時00分

(2)場所 九州電力熊本支店 2F 会議室 (熊本市中央区上水前寺1-6-36)

18. 開会式 行わない

19. 表彰 優勝 賞状・優勝旗・副賞 準優勝 賞状・準優勝旗・副賞 3位 賞状・楯

20. 上位大会への出場推薦

本大会の優勝チームは、全日本少年軟式野球大会九州地区大会(6月29・30日開催)に本県代表として推薦する。